



ほっとスマイル

第56号 2010.1(イベント)

中央地区社会福祉協議会

(安城市総合福祉センター内)

でんわ 77-7889

ファックス 77-7891

発行責任者 鳥居 玄根



認知症予防講演会

(高齢者のための福祉教室)を開催します！

高齢社会が進む中で、認知症の問題は避けて通ることができない重要な課題となっています。この状況の中で、認知症予防には、特に皆さんの関心が集まっています。

そこで、今回は認知症の予防と治療に有効な『回想法』について、実践と研究の第一人者である来島氏を迎えての講演会を開催いたします。

『回想法』についての理解を深め、日々の暮らしの中で、さまざまな場所での活用の方法について、学んでみませんか！皆さまお誘いあわせで、ぜひ、ご参加ください！

とき 平成22年2月14日(日)午後1時30分～3時

ところ 安城市総合福祉センター 2階 多目的ホール

演題 「おしえてください昔のこと

きかせてくださいあなたの思い出」

講師 来島 修志氏

(日本福祉大学高浜専門学校 作業療法学科 学科長)

申込みは、錦町・桜町学区、赤松町の老人クラブ会員の方は各クラブへ

その他の方は、中央地区社会福祉協議会へ、住所、氏名、電話番号を連絡してください。

中央地区社会福祉協議会

電話 77-7889

FAX.77-7891

高齢者でなくても、どなたでも参加できます。無料です。



中央地区社協の活動を紹介します！

－中央地区社協ではこんな行事を行っています－

福祉講演会

平成21年5月16日(土)開催

テーマ 「ある視覚障害者の震災体験～そして相互理解へ～」

講師 工藤 正登氏(兵庫県西宮市在住の視覚障害者)

昭林公民館ホールにおいて、総会の後、福祉講演会を開催しました。今回は視覚障害を持つ身で、阪神淡路大震災で被災した工藤正登さんを講師にお招きし、震災の当日から、その後の救援活動、そして現在の啓発活動などを語っていただきながら、実際の被災体験から学んだこと、そして私たちへのメッセージをいただきました。



工藤さんの話に聞き入る参加者
150席の会場は満席に近い状態に！

工藤さんの話の中では、報道されていない生々しい当時の現実の出来事などが語られ、地震災害への認識を新たにするとともに、「人間は決してあきらめてはいけない。誰だって何かやれることはあるはずだ！」
と言う貴重な言葉をいただき、感動の中、講演会は幕を閉じました。

震災は障害者の方にとって、健常者よりも怖い事を体験しているものだと思います。自分に置き換えた時、どうになってしまうのかと本当に考えさせて頂ける良い機会となりました。

ご自分も被災者でありながら、ハンディーがあっても何か出来るとおっしゃって、とても沢山のこと(活動)をされてきたことにとっても頭が下がります。また、人と人のつながりの無限さを感じました。

地域福祉活動勉強会

平成21年6月13日(土)開催

テーマ 「助け合いのできるご近所づくり」

講師 ボランティアグループ「すずの会」代表 鈴木 恵子氏

(神奈川県川崎市宮前区在住)



社会福祉会館において「第1回地域福祉活動勉強会」を、町内福祉委員会など、実際に地域で活動されている方々(約90人の参加者)を対象に開催しました。

今回は神奈川県川崎市で、平成7年から高齢者の介護などの問題について、地域住民の立場で活動されているボランティアグループ「すずの会」の取組みを学びました。「すずの会」では、気になることにできることから取組み、関係機関ともつながりを持って活動を展開しています。

代表の鈴木恵子さんの話からは、住民流のアイデアがいっぱい！

中でも地域で孤立しがちな男性介護者への支援、ご近所サークルやミニデイの取組み、男性ボランティア「男組」の活動には、今後の活動への多くのヒントをいただきました。

第12回安城サクスフェスティバル

「街中宝(バリア)さがしコーナー」

平成21年10月24日(土)開催



へきしん会場からスタートして、商店街へ出かけます！

当日は22軒のお店の協力をいただいて、お店の段差や通路などのチェックと、電線の地中化でバリアフリーになった歩道の状態を、車いす体験、百歳体験を通して確認して歩きました。

「まちづくり Anjo」の主催で、JR安城駅南側商店街一帯を会場に、第12回安城サクスフェスティバルが開催されました。中央地区社協では、第5回から毎年、「街中宝(バリア)さがしコーナー」として、車いす体験、百歳体験のコーナーで参加し、今ではサクスの中でごく自然な風景となっています。

今年のテーマは「感動・発見」で、終日天気にも恵まれ、多くの参加者の笑顔、ボランティアスタッフの元気に支えられて、テーマどおりの一日になりました。



車いす体験でバリアチェック！



百歳体験の装具を着けて歩くのは大変！

当日の体験者数		
車いす体験	91人	合計 140人
百歳体験	40人	
車いすミステリーツアー	9人	

お店のみなさんのやさしさに感謝の1日でした！

今年も活躍していただきましたボランティア連絡協議会、サークル*くるくる、たけうま、慈恵福祉保育専門学校のみなさん、地元町内会・福祉委員会のみなさん、商店街のみなさん、そして TENT を貸して下さった MC 三河設計さん、ありがとうございました。

この取組みをサクスだけでなく、普段のまちづくりにもつなげていけるようにしていきたいと思ひます。



車いすミステリーツアーでは、車いすの方との交流のほか、お買い物体験でのお店の人との会話で新たな発見も！

第56回安城七夕まつりでの車いすの貸出

平成21年8月7日(金)～9日(日)開催



JR安城駅前案内所での貸出の様子

安城の夏の風物詩である「安城七夕まつり」の期間中、中央地区社協では、地域の皆さんや学生さんの協力により、JR安城駅前と名鉄南安城駅前の案内所の2か所で、車いすの貸し出しを行いました。

今年は最終日に雨が降ったものの、天候に恵まれ順調に3日間を終えることができました。ボランティアグループ「オ!せっかい」と南町福祉委員会の皆さん、安城生活福祉高等専修学校と安城南中学校の生徒さん 炎天下の中、本当にありがとうございました。

員会の皆さん、安城生活福祉高等専修学校と安城南中学校の生徒さん 炎天下の中、本当にありがとうございました。



名鉄南安城駅前では案内所の役割も担当しました。

車いすの貸し出し台数(3日間の合計)

合計	21台
----	-----

JR安城駅前 14台 名鉄南安城駅前 7台

市民防災フェアでの福祉防災カフェ

平成21年12月13日(日)開催

東南海・三河地震発災から65年を迎える節目の年に、過去の貴重な被災体験の教訓を今に活かそうと、参・官・学・民の協働によって実行委員会が中心となり、「市民防災フェア」が文化センターにおいて開催されました。

中央地区社協では、このイベントの中で「福祉防災カフェ」のコーナーを担当しました。城南町、南町、花ノ木の町内福祉委員会での



パネルと防災マップを展示した会場の風景

要援護者支援の取組みについてパネル展示をするとともに、花ノ木町内会の子ども会を中心に取り組んだ「はなのき防災マップ」の展示を行いました。他にも炊き出し、受付など地元町内会の皆さんの協力をいただきました。当日は約2,000人の来場者でにぎわい、市民の防災への関心の高まりが感じられました。



はなのき防災マップの作成には、子ども会とおやじの会、老人クラブが協力して取り組み、夏からずっと準備を進めてきました。

日々の業務に追われて1年以上も発行が滞り、久々の発行となってしまったことを、深くお詫び申し上げます。担当 吉村

